

## 高校生向け障害理解ワークショップ「ココロン・スクール」の実施について

### 1 事業の目的及び概要

障害者保健福祉計画の基本方針である「共生社会の実現に向けた障害理解の促進と権利擁護の推進」に基づき、学生時代など早い時期からの障害理解の促進を図ることを目的とする。

市内の高等学校において、授業または課外活動として、障害のある方もない方もお互いに理解を深め、共生する社会づくりの重要性について、生徒自身が考えるワークショップを開催するもの。内容や構成は各校の要望に応じて調整を行う。

### 2 実施報告

#### (1) 尚綱学院高等学校

- ・日 時：令和元年 11 月 8 日（金） 16 時 30 分～18 時
- ・対 象：尚綱学院高等学校インターアクト部員 23 名
- ・内 容：前半 45 分 障害当事者講師講話  
後半 45 分 障害当事者ファシリテーター 1 名と生徒 5 名程度によるグループワーク  
各グループで話し合った内容を生徒より発表
- ・講師等：【講話講師】特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアースセンター理事長 伊藤清市氏  
【グループワークのファシリテーター】  
仙台スピーカーズビューロー 小松雅貴氏  
仙台市視覚障害者福祉協会 副会長 嶋原真一氏  
非営利活動法人 自閉症ピアリンクセンター ここねっと 平朋枝氏  
仙台市聴覚障害者福祉相談員 細川かおる氏
- ・感 想：  
「障害は目に見えるものだけではなく、精神的な障害もあるということを知ることができた」  
「身近でお話を聞けて、自分の中の障害に対するイメージが大きく変わりました」  
「実際にどういうことで困っているのかを聴くことができ良かった」 など



## (2) 仙台市立仙台大志高等学校

・日 時：令和元年 12 月 11 日（水）

Ⅰ部 13 時 35 分～14 時 20 分

Ⅱ部 19 時 20 分～20 時 05 分

・対 象：1 年次生徒 Ⅰ部 70 名・Ⅱ部 22 名

・内 容：障害当事者講師講話

・講 師：【講話講師】特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアーセンター理事長 伊藤清市氏

※Ⅰ部・Ⅱ部共通

・感 想：

「お話を聞いたり動画を見たことで、障害のある方の考え方が、自分と似ていたりして、身近に感じた」

「障害を持つ人が受け入れられているビデオや、『身近なバリアを作らない』というお話が勉強になった」

「障害者の方ができることを私たちがさえぎっていることをかなしく思った。もっと周囲を見て行動できるといいと思った」 など



## 3 令和元年度の事業を踏まえて

両校の生徒へのアンケート結果からは、障害のある方から直に話を聞いたり意見を交わしたりした経験によって、障害に関する知識が深まっただけではなく、障害のある方を身近に感じ、困りごとを取り除くために具体的な行動を心掛けたいとの意見が多数見られた。

令和2年度は、若年層へのさらなる障害理解促進を図るため、主な対象に中学生を加え、開催回数・参加人数の増を目指す。